

令和4年9月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

久保田 将誠 議員

教育行政について

(1) 教員の魅力発信

教員の魅力発信が、なり手不足の解消につながることについての見解と、魅力発信の取組についてお尋ねしたい。

(教育長答弁)

ある民間企業が全国約2千人の教員を対象に実施した調査によれば、「教員になりたい」と思った最多の理由は、「子供のころに尊敬する教員・憧れる教員に出会ったから」というものでした。

このことから、教員が子供たちにとって、輝く存在になれるよう「働きがい」改革を一層進めていくとともに、現在、子供たちが尊敬し、憧れる先生方が数多くおりますので、そのような先生方にスポットをあて、教員の魅力として発信することは有効な取組であると考えております。

今後、高校生や大学生への情報提供に留まらず、テレビや新聞などメディアを通じた広報、若年層に向けたSNSなど様々な媒体を活用した教員の魅力発信について検討してまいります。

魅力的な学校づくりを、県教育委員会はどのように考えているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

子供と教員にとって、学校が魅力的な場所となっているのかを絶えず問い直していくことは、校長が学校経営を進める上で、大変重要なことであると考えております。

学校が魅力的な場所であり続けるには、まずは子供たちが友達と安心して過ごすことができる環境を作り、その中で、自分の能力を存分に発揮しながら、やりがいをもって学習に取り組んでいくことが大切です。

例えば、ふるさと教育では、地域を舞台に、子供たちが仲間と協力しながら、主体的に探究学習を進める中で、成長していく姿が見られます。

このように、生き生きと学び、成長していく子供たちの姿を見ることは、教員にとって何物にも代えがたいやりがいを実感できることであり、そのような教育を推進することで、魅力的な学校づくりに努めてまいります。